

第9章 引用文献

- American Organization of Nurse Executives (2015) . Nurse Executive Competencies
<https://www.aonl.org/sites/default/files/aone/nec.pdf> (2019 年 12 月 8 日)
- Anderson et. al. (2001). A Taxonomy for Learning, Teaching, and Assessing: A Revision of Bloom's Taxonomy of Educational Objects, Longman.
- 穴見翠 (2017) . 「特定行為に係る看護師の研修制度」の現状と今後に向けた課題. 看護管理. 医学書院. Vol.27. No.11. pp. 880-886
- 家子直幸,小林庸平,松岡夏子,西尾真治 (2016) . 政策研究レポート エビデンスで変わる政策形成. 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング. 1-44
- 石井良一 (1999) . 政策形成の意義と手法. 地域経営ニュースレター. Vol.11, No.5, p.3
- エイミー・C・エドモンドソン (2014) . チームが機能するとはどういうことか. 英治出版株式会社. pp.38, 40-41, 68, 71, 368
- Bloom, B. S. (1956). Taxonomy of Educational Objectives. Vol. 1: Cognitive Domain. New York: McKay
- Boyatzis R.E. (1982). The Competent Manager: A Model for Effective Performance, Willy-Interscience, New York
- 倉岡有美子 (2017). 就任初期の看護師長を対象とする経験学習を基盤とした看護管理能力開発プログラムの開発と評価. 博士論文. p.9
- 古賀智子,松本伸示 (2006). メタ認知を促す方略の研究. 日本教科教育学会誌. 第 29 巻 第 1 号. pp.69 – 77
- Kolb, D. A. (1984). Experiential learning: Experience as the source of learning and development (Vol. 1). Englewood Cliffs, NJ: Prentice-Hall.
- 厚生労働省 総合職（事務系）採用情報
<https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kokka1/message/index.html> (2019 年 12 月 7 日)
- 厚生労働省 (2016). 保健師に係る研修のあり方等に関する検討会 最終とりまとめ
<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000120158.pdf> (2019 年 12 月 7 日)
- 佐藤浩章 (2010). 大学教員のための授業方法とデザイン. 玉川大学出版部. pp.6-8

Swider S. M, Krothe J, Reyes D, Cravetz M. (2013). The Quad Council Practice Competencies for Public Health Nursing. Public Health Nursing. vol.30, No. 6, pp. 519-536

人事院 (2006) . 研修資料 平成 18 年 7 月「国家公務員に関するモニター」アンケート調査結果.

<http://www.jinji.go.jp/kensyuu/090224004.pdf> (2019 年 12 月 7 日)

人事院. 平成 30 年度版 人事院の進める人事行政について～国家公務員プロフィール～

http://www.jinji.go.jp/pamfu/profeel/03_kazu.pdf (2019 年 12 月 7 日)

人事院. 平成 29 年度公務員白書 第 3 部 平成 29 年度業務状況 第 2 章 人材の育成

http://www.jinji.go.jp/hakusho/pdf/29_1-3-2.pdf (2019 年 12 月 7 日)

武村雪絵編著 (2017) . 看護管理に活かすコンピテンシー. メヂカルフレンド社

田村知子,村川雅弘,吉富芳正,西岡加名恵 (2017) . カリキュラムマネジメントハンドブック. ぎょうせい. 96-106

田村やよい (2015) . 私たちの拠りどころ保健師助産師看護師法. 日本看護協会出版会

富永敦子,向後千春 (2014) . e ラーニングに関する実践的研究の進展と課題. 教育心理学年報. 第 53 集. pp156-165

内閣官房. 統計改革推進会議最終取りまとめ. 平成 29 年 5 月 (2019 年 12 月 8 日)

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/toukeikaikaku/pdf/saishu_honbun.pdf

内閣府. 科学技術基本計画

<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index5.html> (2019 年 12 月 8 日)

内閣府. 科学技術基本計画 (平成 28 年 1 月 22 日閣議決定)

<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/5honbun.pdf> (2019 年 12 月 8 日)

内閣府. 平成 29 年度科学技術と社会に関する世論調査

<https://survey.gov-online.go.jp/h29/h29-kagaku/index.html> (2019 年 12 月 8 日)

中原淳 (2013). 経験学習の理論的系譜と研究動向. 日本労働研究雑誌. 55(10). pp.4-14

中原淳,ダニエル・ゴールマン,ターシャ・ユーリック,バーニース・スワイン,ロバート・スティーン・カプラン,スーザン・デイビッド (2019) . セルフ・アウェアネス. ダイアモンド社. p4, pp24-25

中村文子,ボブ・パイク (2018). 研修デザインハンドブック. 日本能率協会マネジメントセンター. p15, 24

永野貞編著 (1963) . WHO 看護管理ゼミナール記録. 日本看護協会出版部.

- 日本看護管理学会学術活動推進委員会編（2016）．看護管理用語集第2版．日本看護管理学会．52-53、156-157
- 野村陽子（2015）．看護制度と政策．法政大学出版局
- Horton, S. (2000). Competency Management in the British Central Government .
International Journal of Public Sector Management. 13(4), 354-368
- 本多 領子, 野村 賢一（2011）．コメディカルにおける確認テストを取り入れた勉強会効果．日本環境感染学会誌. p237. 26 巻. 4 号
- 松尾 睦（2011）．職場が生きる人が育つ「経験学習入門」．ダイヤモンド社. p.56, 57
- 見藤隆子, 石田昌宏, 大串正樹, 北浦暁子, 伊勢田暁子（2017）．看護職者のための政策過程入門 第2版, 日本看護協会出版会
- 宮下清（2013）ホワイトカラーの職務能力育成のあり方．経営学論集 225 号．日本経営学会.
1－9
- 望月耕太（2015）．コルブの体験的学習モデルを用いた概念形成過程の分析．静岡大学教育学部附属教育実践総合センター紀要. No.24. pp.155-162
- 文部科学省．平成 29 年版 科学技術要覧 研究費
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2017/11/09/1397848_03.pdf (2019 年 12 月 8 日)
- Mayring, P. (2004) . Qualitative content analysis. In: Flick U, Kardorff Ev, Steinke I eds. A companion to qualitative research. London: Sage
- 守田孝恵, 奥田博子, 兼平朋美, 磯村聡子（2016）．我が国の行政保健師の専門能力向上のための段階別研修の実態．保健医療科学. vol.65, No.5, pp.510－518
- 文部科学省．平成 30 年版科学技術白書
http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpaa201801/detail/1405921.htm (2019 年 12 月 8 日)